



「甲佐蚤の市 ザ・ファイナル」

10月6日(日)。甲佐町が全国で最も高い最高気温を記録したこの日、最後の「甲佐蚤の市」に2万人を超える人が来場しました。今回で実質10回目を迎えたこのイベントは、人口減少による町の空き家や空き店舗の増加を食い止めようと、甲佐町商工会主催で始められました。

商店街には100店舗を超える出店が並び、ステージイベントや教会でのコンサート、落語など、多彩な催し物が会場全体を盛り上げました。

途中、熊本県の木村知事も駆け付け、「副知事の時代から何度も訪れている甲佐町。蚤の市は終わってしまいましたが、今日は新しい甲佐町への第一歩となる日ですね」と、温かい激励の言葉を述べられました。

秋とは思えないほどの暑さの中、来場客も出店者も汗をかきながら全力でこのイベントを楽しんでいる様子でした。特に印象的だったのは、写真を撮るたびに「終わってしまうのが勿体ない」「甲佐町で何かイベントがあれば、ぜひまた来たい」と多くの人が言っていたことです。

初開催から12年が経ち、蚤の市をきっかけに商店街への出店も増え、町を訪れた人々から「甲佐町って良いね」という声をよく耳にするようになりました。

「当時、私が挑戦させてもらえたように、新たなイベントができればと思っています」という実行委員長挨拶で、甲佐蚤の市は幕を閉じました。

